

丹沢大山総合調査学術報告書 2007

丹沢大山総合調査団 編, 財団法人 平岡環境科学研究所 発行

2007年8月10日刊行

本冊 A4判 本文800ページ, カラー口絵32ページ (CD-ROM付)

目録 A4判 470ページ

化粧箱入り 定価: 8,800円 (税込み, 送料別800円)

丹 沢 大 山
総合調査学術報告書

丹沢大山総合調査団 編
財団法人平岡環境科学研究所発行

「丹沢大山総合調査学術報告書」2007年版の刊行をご案内いたします。
2007年版では、自然環境についての詳細な学術報告とともに、これらの研究成果を基礎として、丹沢で生き、丹沢を利用する人々とともに行う自然環境の再生、ブナ林再生のためのニホンジカの保護管理など、未来に向けた提言が行われています。

本 冊 目 次

第1章 背景と調査計画

第2章 生きもの再生調査 (第1節 植物, 第2節 哺乳類・鳥類, 第3節 昆虫類・クモ類, 第4節 溪流生物, 第5節 土壤動物と菌類)

第3章 水と土再生調査 (第1節 大気, 第2節 水, 第3節 土, 第4節 森林環境の変遷)

第4章 地域再生調査 (第1節 調査の目的と方法, 第2節 暮らしの再生, 第3節 山のなりわい複合再生, 第4節 自然公園の利用環境評価, 第5節 丹沢大山地域の環境教育・学習, 第6節 総括)

第5章 情報整備調査 (第1節 自然再生と情報整備, 第2節 丹沢自然環境情報ステーション e-Tanzawa の構築と運用, 第3節 解析手法開発とデータ利活用)

第6章 特定課題の総合解析 (第1節 丹沢大山総合調査における総合解析の概略, 第2節 ブナ林の再生に向けた総合解析, 第3節 人工林の再生—環境保全型林業にむけて—, 第4節 地域の自立的再生に向けた総合解析, 第5節 溪流生態系の再生, 第6節 ニホンジカの保護管理に向けた総合解析, 第7節 希少動植物の保護, 第8節 外来生物の除去—丹沢山地における外来生物問題と対策—, 第9節 自然公園の適正利用, 第10節 統合再生流域)

第7章 資料 (丹沢大山総合調査公募型事業報告書 (ほか))

お申し込みは申込用紙をご利用の上 FAX, 郵送にてお願いいたします。

ウェブ・サイトからもお申し込みいただけますのでご利用下さい。

お申し込み・お問い合わせ

財団法人平岡環境科学研究所 〒220-0102 神奈川県相模原市城山町原宿 5-15-6

TEL 042-783-5881 FAX 042-783-5882

E-mail: ウェブ・サイトからお送り下さい

URL: <http://hiraokaken.or.jp/>